

我が實業的活動の基柱の一としての我鐵工業の保持及進歩は我が祖國の安寧幸福及び將來のため缺くへからざる前提たり、如何となれば「勞働の目的は民福にあり」と我が天才的獨逸鐵工場主の言は正に茲に用ゆべきものなればなり、(終り)

◎千九百十五年に於ける瑞典鑛產額

千九百十五年に於ける瑞典鑛產額は同國官報による時は次表の如し、就中有名なるキルナバラ鑛床よりの鐵鑛產出額は千九百十四年には二百七十二萬八千三百六十三噸なりしに昨年に於ては二百七萬六千五百十二噸に減少せり、之れ素より歐洲戰亂の影響を受け殊に船腹の不足を告げたるに起因するものなり、然るにトロールヘツタンに於ける電氣亞鉛の產出額は千九百十四年に於ては二百二十九萬九千七百六十一噸なりしに昨年の產出額は八百五十八萬八千三百八十四噸に激増せり。

鐵 鑛	六、八八三、三〇八噸	亞 鉛 鑛	五五、九三七噸
石 炭	四一二、二六一	ニツケル鑛	一、六四二
金 鑛	二二一	硫 化 鐵	七六、三二四
金 銀 鉛 鑛	二、六七一	長 石	一二、一〇五
輝 水 鉛 鑛	三七	石 英	三三、八一八
銅 鑛	一〇、五四九	黑 鉛	八七
滿 俺 鑛	七、六〇七	粉末滿俺鑛	一二六

瑞典に於ける千九百十五年に於ける鐵以外の金屬產出額を示せば次の如し。

金三十七坵、銀七百五十四坵、鉛百九十一萬七千六百七十八坵、銅四百五十六萬五百八十四坵、亞鉛八百五十八萬八千三百八十四坵。(The Engineering and Mining Journal, Oct. 28, 1916.)